



【治安情報】ルワンダ南西部国境、コンゴ（民）東部と接する地域への渡航自粛について

【ポイント】

- 隣国コンゴ（民）東部情勢について、報道によりますと、昨日（２月１４日）から反政府武装勢力（AFC：コンゴ川同盟、M23 等）が南キブ州の州都ブカブ（Bukavu）に侵攻している模様です。
- ブカブはルワンダ南西部と陸路で国境を接しており、同国境地域の緊張が急速に高まっており、今後国境を越えて混乱が発生する恐れがあります。
- 本年２月４日付で同地域に対する危険レベルがレベル２に引き上げられています。不要不急の渡航はお止めください。

【本文】

- 本年１月下旬ころから急激に悪化している隣国コンゴ（民）東部情勢について、反政府武装勢力（AFC：コンゴ川同盟、M23 等）が北キブ州の州都ゴマ（Goma）を掌握後、支配地域を拡大しながら南下を続け、報道によりますと、昨日（２月１４日）南キブ州唯一の空港であるカヴム（Kavumu）空港を掌握し、同地から約３０ｋｍ南に位置する南キブ州の州都ブカブ（Bukavu）に侵攻している模様です。
- ブカブはルワンダ南西部のルシジ（Rusizi）郡と陸路で国境を接しており、１月下旬の北キブ州ゴマにおける武力衝突では、国境を接するルワンダ側のルバブ（Rubavu）郡にも砲撃や流れ弾が飛来し、多数の死傷者や家屋等損壊の被害が出ています。今回の侵攻においてもルワンダ側で被害の可能性があり、陸路国境での混乱も予想されるなど同国境地域は大変危険な状況です。
- 本年２月４日付で同地域に対する危険レベルがレベル２に引き上げられています。不要不急の渡航はお止めください。
- 今後の情勢に十分注意を払い、政府機関等の最新治安情報、交通情報等の収集に努めるとともに、いつでも当館から連絡が取れる体制を維持してください。

※このメールは在留届、たびレジに登録されたメールアドレスに配信されております。

※「たびレジ」簡易登録をされた方で、メールの配信を変更・停止されたい場合は、以下の URL から停止手続きをお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>

※災害や騒乱等が発生した際、ご家族、ご友人、同僚を守るため、一人でも多くの方に安全対策に関する情報が届くよう、在留届（３か月以上の滞在）の届出、又はたびレジ（３か月未満の滞在）の登録を、お知り合いの方や出張者・旅行者にご案内いただけますようお願いいたします。

緊急時の連絡は、下記連絡先までお願いいたします。

在ルワンダ日本国大使館（ブルンジ兼轄）

領事班（＋250-788-385-404）

https://www.rw.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html